

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 742 事業名 紀州犬育成補助事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		文化財保護費	
	大事業		文化財保護事業	
事項	無形民俗文化財等保存育成事業（紀州犬育成補助事業）			

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	1	文化遺産の保護・継承
取組	1	文化遺産の保護・継承

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	富松 真矢子 (435-1194)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	国指定文化財（天然記念物）保護団体の育成を図る。	紀州犬の保護団体である（社）天然記念物紀州犬保存会の通年の活動への事業補助。紀州犬展覧会（日本犬展覧会・紀州犬展覧会）への盾・賞状の発行。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		第52回和歌山支部展 第53回和歌山支部展 第54回和歌山支部展 第71回日本犬保存会展 第72回日本犬保存会展 第119回日本犬保存会和歌山県支部展覧会 第120回日本犬保存会和歌山県支部展覧会 第37回東京支部紀州犬展覧会	第54回和歌山支部展紀州犬展覧会 第55回和歌山支部展紀州犬展覧会 第121回日本犬保存会和歌山県支部展覧会 第73回全国紀州犬展覧会 第38回東京支部紀州犬展覧会 第56回和歌山支部展紀州犬展覧会 第122回日本犬保存会和歌山県支部展覧会	第57回和歌山支部展紀州犬展覧会 第74回全国紀州犬展覧会 第75回全国紀州犬展覧会 第123回日本犬保存会和歌山県支部展覧会 第124回日本犬保存会和歌山県支部展覧会 第39回東京支部紀州犬展覧会	第59回和歌山支部展紀州犬展覧会 第60回和歌山支部展紀州犬展覧会 第40回東京支部紀州犬展覧会 第125回日本犬保存会和歌山県支部展覧会 第126回日本犬保存会和歌山県支部展覧会	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	53	53	53	50	53	46	53			
	伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		0.0%		-100.0%	
	人件費	常勤職員	1,105	776	776	703	703	683	683		
		非常勤職員									
	小計	1,105	776	776	703	703	683	683			
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源 (税等)	53	53	53	50	53	46	53				
所要人数	常勤職員	0.14	0.1	0.1	0.09	0.09	0.09	0.09			
	非常勤職員										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	展覧会表彰状、盾制作回数				年度目標値	3	3	3	3
					実績値	8	7	6	
	単位	回	全体目標値	3	全体目標達成度	266.7%	233.3%	200.0%	
					年度別達成度				
成果指標	各展覧会への紀州犬の出陳件数				年度目標値	450	450	450	450
					実績値	469	404	479	
	単位	件	全体目標値	450	全体目標達成度	104.2%	89.8%	106.4%	
					年度別達成度				
					年度目標値				
				実績値					
				年度別達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	
		A	

担当課評価の根拠	紀州犬は天然記念物であり、後世に伝承すべく、保護しなければならない。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	